

②② 大正蔵第十二卷一一一八頁、定遺六三九・五五五・一二二四頁

②③ 大正蔵第十二卷五六三頁A

②④ // 八九二頁B

②⑤ // 八九二頁C 定遺五九一・五九七

②⑥ 一〇六〇頁

②⑦ 大正蔵第十二卷四九七頁C

// 八七七頁C

②⑧ 定遺六〇二頁

②⑨ // 六一六頁

③① // 五一四・六一八頁

③② // 九二四頁

③③ 五一三頁

## 編集後記

「現代宗教研究」第六号は、特集を二つくみました。最も緊急な課題の一つである公害問題に、日蓮宗徒として対処していく精神的態度と現状把握を示そうとしたものです。公害をなくす実践に大いに活用されることを望んでいます。

また、東北の宗教構造の解明は、東北における教化活動や本宗のあり方を考える基本的背景を提示しようとするものです。東北の教師各位がこの調査をうけとめ、布教と社会実践の一助とされるよう期待します。もちろん、東北だけでなく全国各地の宗教構造に関する分析調査を随次行ない発表していく予定です。

ベトナム仏教徒との対話からは、現代に生きる信仰と平和への実践の姿がうきほりにされていますが、同時に、信仰と社会実践の結合こそ大事な柱であることが確認できると思います。真のベトナムの平和とベトナム仏教徒との一層の交流が強く望まれます。

今回から研究ノートを掲載しました。日蓮聖人と涅槃経については、まだ充分研究されておらず、その意味からも久住研究員の論考を一読されるようお願いします。